

いきいき広場

—Let's enjoy life in elder's hometown—

穴生だより 祝 101歳

101歳のお誕生会を開催しました。101歳を迎えたのは、大正3年4月14日生まれの榎本園恵様。ご家族・ご入居者様・スタッフで賑やかにお祝いしました。

誕生会では、スタッフが製作したDVD(パレス穴生での榎本様のご様子)を上映し、その後、段ボール紙で作った大きなケーキにナイフで娘様とケーキカット、みなさんでハッピーバースデイを唄い、最後に榎本様よりお礼の言葉をいただき、心温まる時間を共有することができました。

榎本様は、私たちに対しても、「いつもお世話になりますね」「あなた、もう食事は終わつた」と、折に触れ、ねぎらいの言葉をかけてくださいます。この感謝の気持ち、気配りが、元気の秘訣なのだと、人生の大先輩に職員一同ただただ感服するばかりです。

(パレス穴生施設長 井上美穂)

新聞・テレビ・ラジオ ご覧になりましたか?

このところ、年長者の里のニュースが新聞・テレビやラジオを通じて、皆様に届いています。その中から、私が直接携わったいくつかを紹介します。

地域交流と癒しの場として、既に多くの皆様にご利用いただいている小倉・白銀の「プラネットリウム」。オープン間際の3月、近所にある「れんげの花保育園」の年長さん35人がやってきました。プラネットリウムを観賞した後は、お年寄りの皆さんと歌やゲームで大はしゃぎ。この様子は、夕方のNHKニュースで放送されました。ご覧になりましたか?

年長者の中では、60歳以上の方が120人以上も働いています。70歳現役社会といわれる今日、様々な分野で活躍する元気なシニア世代となりあげたのが同じくNHKの特報フロントティア「高齢化の日本的新・人材戦略」。介護業界からは、「パレス八幡」に勤務する65歳の介護職員さんが登場しました。九州全域で放映され、より多くの方に年長者の里を知っていました。年長者の里のホームページで発見できます。

これからも、メディアを活用し、皆様に旬の情報をお伝えしてまいります。年長者の里のホームページをご覧くださいね。

(総務部長 井上信治)

年長者の里 地域支援統括専門員

この度、年長者の里で初めてとなる地域支援を統括する専門職として着任した中西です。平成9年に年長者の里に入職し、介護施設やケアマネジャー業務を経験後、平成19年より今年の3月までの7年間、戸畠区統括支援センターの主任ケアマネジャーとして出向してまいりました。

高齢者とひとくくりにいっても、その生活は変化しており、今までのような支援では難しい時代になってきたと感じていました。八幡東区の高齢化率は高く、なかでも大蔵地区は、高齢化率が50%を超えており、高齢者世帯や独居高齢者の方が多いらしくあります。私ども年長者の里は、介護・福祉・医療サービスを総合的に提供していますので、まだ地域の方のお役に立てることがあるのではないかと感じています。これまでの経験を活かし、大蔵地区や八幡東区にある様々なネットワークと連携して、安心して生活できる地域づくり、まちづくりに貢献できるよう頑張ってまいります。

お世話になっている地域の皆さまのお役に立つこと探しています!

中西 雄一

●電話 093-652-2100
●mail : nakanishi@nenchousha.com

しらがね福祉講座開講記念

2大 料金特典スタート



デイサービスセンター白銀
昼食代+おやつ代 600円を
→ 300円!

季節感たっぷりのメニューで
お待ちしています

■お問い合わせ
093-932-0225 (高橋)

小規模多機能ホーム白銀

宿泊費 1泊 2,700円を

→ 1400円!

小規模多機能ホームでは
同じ場所で同じスタッフが「通い」と
「宿泊」と「訪問」を対応します。

■お問い合わせ
093-932-1202 (安部)



広報室より

本部がある大蔵は世界の絶景10として一躍注目を浴びた河内藤園から5kmほどです。GWは終日大渋滞でした。巻き込まれた方も多いかったのですが、来年はスムーズに見えるといいですね。



我が老を老とし、人の老に及ぼす

2015 JUNE

社会福祉法人

ELDERS

vol 49



年長者の里

URL : <http://www.nenchousha.com> E-mail : sato1952@nenchousha.com

年長者の里 小倉白銀(西館)落成式

2月18日 小倉北区白銀の全国初プラネタリウム付複合高齢者施設

小倉白銀(西館)がオープンしました。★



落成式には地域の方々、行政や経済界、教育・文化関係など多くの分野でご活躍の皆さま約150名にご出席いただきました。「日本初プラネタリウム付きの施設」ということで、新聞、テレビ、YAHOOニュースでも取り上げられ、注目をあびました。

小倉白銀も地域包括ケアの提供機関として、また地域交流の場として、皆様のお役に立ちたいと考えています。

施設詳細は、ホームページ又はリーフレットをご覧くださいませ。



～多くの皆さまからご祝辞を頂戴しました。ありがとうございました～

「官営八幡製鉄所 世界遺産登録」と 「北九州スタジアム」で “観光の北九州市”として前進！

都市の活力の源泉は人の集積だ。交流人口を増やす観光産業が鍵だ。北九州市の人口が96万人を割った今、観光都市を目指す北九州市。

「官営八幡製鉄所 旧日本本事務所が世界遺産登録」と「北九州スタジアム起工」とは大きな起爆剤だ。北九州市の一泊型の観光には小倉城を中心とした整備が不可欠だ。集客の拠点であるJR中央駅が「北九州駅」に名前が変われば、北九州市全体の一体感に繋がる。パブリシティ効果30億円と言われて



北九州モノレール 「小倉白銀号」出発進行！

4月20日 モノレール小倉駅で、ラッピングモノレールの出発式をいたしました。

来年4月までの1年間、小倉のまちを元気に走ります。「エルダーマーク」を多くの方に覚えてもらって、年長者の里を身近に感じていただきたいものです。



一日駅長 特別養護老人ホーム大蔵園
作業療法士 藤井拓也

